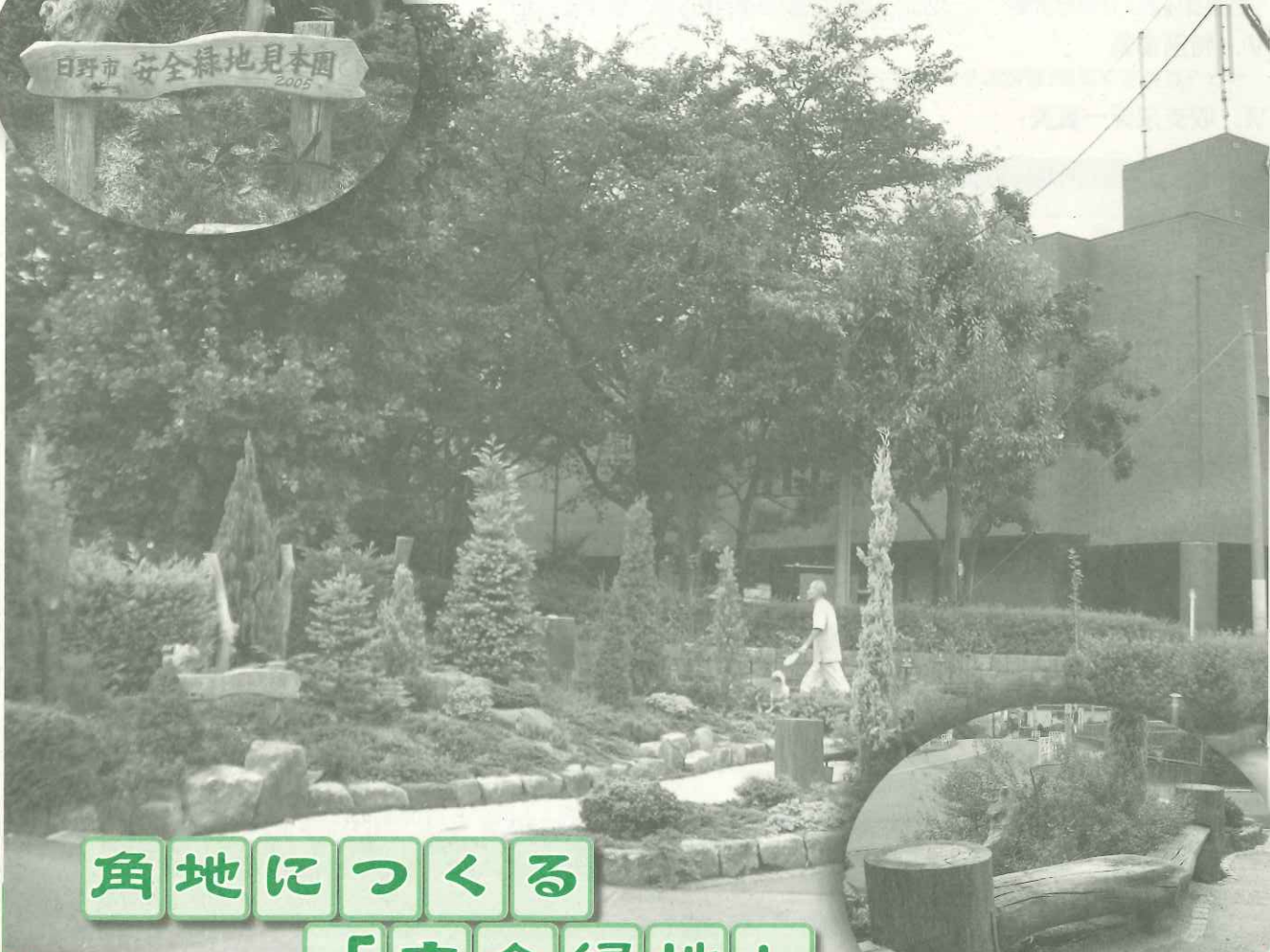




緑のまち

発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒191-0016 東京都日野市神明2-13-1 電話 042(585)4740



角地につくる

「安全緑地」



廃材を活用したベンチ

日野市は安全で安心なまちづくりを目指しています。
そこで(財)日野市環境緑化協会では、日野中央公園の東南角に「日野市安全緑地見本園」を NPO 日本公開庭園機構の全面的な協力を得て設置いたしました。
道沿いの緑化や景観づくりは、デザインや素材、植栽をひと工夫することで、すばらしい街角景観に生まれ変わらせることができ、あわせて子供やお年寄りにも優しい、見通しの良い安全緑地となります。
廃材や間伐材利用も兼ねて、防災にもプラスになる「安全緑地」を広げていきます。是非一度ご覧になってください。

平成16年度 事業報告・収支決算

I. 緑化推進に関する啓発普及事業

- 春・秋の緑化月間 ①山野草盆栽展(146点/424名入場) ②緑のリサイクル(500点/430名参加)
③菊花コンテスト(309点/市民一般の部 27名参加/団体の部 27団体参加)
④緑の写真展(53点/19名参加) ⑤その他
- 会報「緑のまち」発行(第30号) 3. 「緑のまち」作文集作成(600部)
- 緑化講習会開催(6回開催/158名参加) 5. 「サクラの集い」開催(約500名参加)

II. 緑化推進に関する事業活動

- 公園・公共施設等への植付け用花卉の栽培および植付け(49,995株) 2. 花の里親・里子運動の実施(里親79名/種子袋871袋)
- 菊花栽培事業(15,157本) 4. レンゲ畑の再現事業 5. コスモスアベニュー事業(日野市と共催)(507名参加)

III. 緑化推進に関する調査研究

- 水と緑の日野・市民ネットワークの立ち上げ 2. 学校ISOへの取組み 3. 公園の落葉を利用した地域での堆肥づくり

IV. 受託事業

公園清掃および管理事業 120の公園を実施(愛護会65ヶ所/直営55ヶ所)

V. 特別事業

サクラ維持管理事業(植樹したオオシマザクラの維持・管理)

VI. 収支決算一覧表

一般会計			
収入の部		支出の部	
科目	決算額(円)	科目	決算額(円)
基本財産運用収入	423,880	普及啓発費	2,352,101
事業収入	1,323,070	事業活動費	13,597,762
補助金等収入	47,239,468	調査研究費	0
寄附金収入	1,488,197	受託事業費	15,707,687
雑収入	107	管理費	17,388,465
前期繰越	2,138,163	予備費	0
収入合計	52,612,885	支出合計	49,046,015
		次期繰越	3,566,870

平成17年度 事業計画・収支予算

I. 緑化推進に関する啓発普及事業

- 春・秋の緑化月間 ①山野草盆栽展 ②緑のリサイクル ③ガーデニングコンテスト ④菊花コンテスト ⑤緑の写真展等
⑥その他
- 会報「緑のまち」発行(第31号) 3. 「緑のまち」作文集作成 4. 緑化講習会開催
- 「スプリングフェスタひの」開催 6. 「さくらの集い」開催

II. 緑化推進に関する事業活動

- 公園・公共施設等への植付け用花卉の栽培および植付け 2. 花の交流広場 3. 菊花栽培事業 4. レンゲ畑の再現事業
- コスモスアベニュー事業(日野市と共催) 6. 腐葉土・肥料の販売

III. 緑化推進に関する調査研究

- 壁面緑化 2. 安全緑地及び雑木林の管理 3. 公園の落葉を利用した地域での堆肥づくりについて地域と話し合い

IV. 受託事業

- 公園清掃および管理事業 120の公園を実施 2. 街並み等安全緑化事業

VI. 収支予算一覧表

一般会計			
収入の部		支出の部	
科目	予算額(円)	科目	予算額(円)
基本財産運用収入	61,000	普及啓発費	2,580,000
事業収入	699,000	事業活動費	14,577,000
補助金等収入	48,747,000	調査研究費	30,000
寄附金収入	1,141,000	受託事業費	16,311,000
雑収入	2,000	管理費	18,042,000
前期繰越収支差額	1,000,000	予備費	110,000
収入合計	51,650,000	支出合計	51,650,000

緑化協会年間事業

“緑化協会では、緑化推進に関する講習会や展示会等、年間を通じて活動しています。”

普及啓発事業

●春の緑化月間

- (1) スプリングフェスタひの(4月上旬)……実行委員会と協力して“さくら”を楽しむ催しを開催します。
- (2) さくらの集い(4月中旬)……多摩川堤のオオシマザクラのお祭りを地元と協力して開催します。
- (3) 山野草盆栽・水石展(4月中旬)……趣味の作品を持ち寄って展示します。
- (4) 自然観察会(4月中旬)……昔懐かしい田野の風景、レンゲ畑を地元農家のご協力で再現し観察します。
- (5) 緑のリサイクル(5月上旬)……市民より提供していただいた植物を配布します。
- (6) ガーデニングコンテスト(6月上旬)……各家庭で行われているガーデニングを発表していただきます。

●緑化講習会の開催

- (1) 家庭果樹の健康管理講習会(5月下旬)……樹木医を招き、家庭果樹について学びます。
- (2) 庭木の手入れ講習会(10月上旬)……基本的な庭木の剪定方法を学びます。
- (3) 稲わら細工講習会(12月上旬)……身近な材料を使って、参加者ご自身の作品をつくります。
- (4) 正月の寄せ植え講習会(12月上旬)……寄せ植えの基本を学び、正月飾りを作ります。
- (5) 春の草花管理講習会(2月中旬)……草花や土の管理方法などを学びます。
- (6) ガーデニング講習会(3月下旬)……種々多様な草花を使ってのガーデニング作りを学びます。

●緑の募金(推進期間4月1日～5月31日)

例年多くの皆様よりいただいた募金の還元金を、市内の緑化に役立てています。
心より厚く御礼申し上げます。

●コスモスアベニュー事業(共催)(6月～11月)

種まきから種の収穫まで、市民参加のいろいろなイベントを行います。

●子ども昆虫教室(7月下旬)

専門の先生を招き、お話を聞きながら実際に昆虫採集や観察などを行う小学生対象のイベントです。

●秋の緑化月間

- (1) 菊花展・菊花コンテスト(10月下旬～11月上旬)……一般市民の部・老人クラブの部・小学校の部に分れ、応募作品の展示、審査、表彰を行います。
- (2) 緑の写真展(12月上旬)……一般募集した作品を市役所1階ロビーに展示します。

●作文集「緑のまち」発行(12月)

市内小学校4・5・6年生を対象に募集した環境についての作文及びカットを6人の先生方に審査していただき、優秀賞・優良賞を選考して作文集として発行します。

●雑木林ボランティア養成基礎講座開催(10回/年)

雑木林を保全するため、手入れの方法や道具の使い方、緑地の歴史等を学ぶ講座を開催します。

事業活動(花壇管理・菊花栽培等)

●公園・公共施設等の花卉植付け(年間)

市内の公園・公共施設等にある花壇やプランターに、年間3～4回四季折々の花を植付けます。

●花の交流広場(年間)

市民の皆様から提供していただいた花の種を、希望者に配布しています。

●菊花栽培事業(年間)……市の花「菊」の栽培

- (1) カサ菊の苗配布(小中学校・幼稚園・保育園)(6月下旬)
- (2) ポットマム・スプレー菊の苗配布(市民・小中学校・幼稚園・保育園・老人クラブ)(8月～9月)
- (3) 貴重品種「白多摩・黄多摩」の配布(小中学校)(9月中旬)
現在は日野市だけが継承している貴重な品種を栽培、配布しています。
- (4) 菊講習会の開催(6月～8月)
 - ① 菊のさし芽講習会(6月中旬)……菊のさし芽の方法を学びます。
 - ② 大菊(福助)の育て方講習会(7月中旬)……大菊(福助)の育て方の基本を学びます。
 - ③ ポットマム・スプレー菊の育て方講習会(7月下旬)……菊の育て方の基本を学びます。

調査・研究

- (1) 公園の落ち葉を利用した地域での堆肥づくりについて
- (2) 壁面緑化について
- (3) 安全緑地、雑木林の管理について

受託事業

●市内120ヶ所公園の清掃(年間)

日野市から委託を受けた市内120ヶ所の公園を、愛護会やボランティアの方々の協力を得て清掃しています。
(基本;毎月2回清掃、年間2回除草)

●街並み等安全緑化事業

公園等を外から見た安全対策事業

*各事業の詳細については、緑化協会にお尋ね下さい。

★ 春の緑化月間トピックス ★

■ガーデニングコンテスト&環境展(■緑のリサイクル) 6月4日(土)



初めての事業としてガーデニングコンテストを実施いたしましたが、市内の家庭で丹精込めて作られた花いっぱい庭や花壇、生垣などたくさんの応募をいただきました。

6月4日には入選者の表彰式を行い、マークチャップマン講師による「英国ガーデンづくり」の講演やガーデニングパネル展、ガーデニング相談所、コンテナ花壇の見本、花卉類販売も行いました。

また、市の環境共生部による環境展(燃料電池車、丸太のリサイクル、他)と例年緑化協会で行っている「緑のリサイクル」(市民の方から増えすぎたり不要になった球根、苗等を提供していただき、それを市民に配布して楽しんでもらう事業です。)も同時開催しました。

ガーデニングコンテスト入賞者

日野市長賞	小林 美奈子(旭が丘)
日野市議会議長賞	相原 朋子(平山)
日野市環境緑化協会理事長賞	木村 三恵(西平山)
審査員特別賞	山崎 宏文(日野本町)
審査員特別賞	日野第4中学校(旭が丘)

審査員 日野緑進会、佐藤哲夫(NPO 日本公開庭園機構)、他1名



ガーデニングコンテスト入賞者表彰式(馬場市長挨拶)

■ひのの春を楽しむ会

さくらのお祭りは「ひのの春を楽しむ会」と「さくらの集い」がありましたが、組織を変更し「ひのの春を楽しむ会」委員会の傘下にこの2つのお祭りが入ることになりました。

名称も「スプリングフェスタひの」(スプリングフェスタひの実行委員会)と「さくらの集い」(多摩川堤さくらの会(東部地区)実行委員会)に改め盛大に行われました。



◎スプリングフェスタひの

日野中央公園で行いました。桜の開花が心配されましたが、今年から2日間行うことになり、4月2日(土)は前夜祭でカラオケ大会をメインに各種イベントと出店、夜は芝生の広場に提灯を点灯していただきました。3日(日)は小川はる子歌謡ショー、野だて、各種催し物、ポニーとのふれあい、フリーマーケット、出店があり2日間で約5500人の人出となりました。

◎さくらの集い(堤防に植えたオオシマザクラのお祭り)

4月10日(日)日野橋下流多摩川右岸河川敷で行いました。各種催し物、出店、防犯、防火のお話、起震車体験、自動車展示等行い、約800人の人出がありました。



秋の緑化月間行事

* 期間：平成17年10月29日～12月19日 *

菊花展

菊薫る秋、今年も協会で配布したポットマム・スプレー菊が市民の方々の手によって素晴らしい花を咲かせ、皆様のお越しをお待ちしています。また、市で育てた大菊・懸崖のほか珍しい菊も展示いたしますので、お誘いあわせの上、是非お出かけ下さい。



- **配布苗菊花コンテスト** 10月29日(土)～11月9日(水) 市民プラザ(市庁舎前)
小学校の部・老人クラブの部・市民一般の部に分け、それぞれが丹精込めた作品を展示します。皆さんの努力により立派に育った菊をお楽しみ下さい。
- **表彰式** 11月9日(水) 午後2:00～ 市民プラザ(市庁舎前)
コンテスト参加作品のうち、日野市長賞・緑化協会理事長賞等38点を表彰します。
- **古典菊・大菊の展示** 10月25日(火)～11月25日(金) 市民ホール(市役所1階)
大菊や古典菊の肥後菊・嵯峨菊・江戸など、約200点を展示します。
- **菊友会菊花展** 10月29日(土)～11月7日(月) 市民プラザ(市庁舎前)
福助・達磨・盆養・切り花など、約150点を展示します。

参加者募集!

緑の写真展 12月7日(水)～12月19日(金)(閉庁日は除く)
午前8:30～午後5:15 市民ホール(市役所1階)

自然ゆたかな街、日野市。四季折々の風景は、私たちに“潤い”と“やすらぎ”を与えてくれます。皆さんの身近にある「みどり」をカメラにおさめて、気軽な気持ちで参加してみませんか!

テーマ1……『日野の四季』

テーマ2……『わが家のみどり』

* 応募方法 どちらも11月25日(金)までに、協会へ郵送か持参



講習会

稲わら竹細工講習会

12月9日(木) 午前9時～正午

自然の材料稲わらと竹を使い、ミニ門松や、竹べらなど風情のあるものを手作りします。



昨年(2005年)の作品

正月飾り・松竹梅の寄せ植え

12月14日(水) 午後2時～4時

新春を華やかに演出する“正月飾り”協会では松・竹・梅に寒菊や南天を添えて、豪華な寄せ植えを、皆さん自身で仕立てるお手伝いをいたします。

* 詳しくは、10月15日発行の「公報ひの」をご覧ください。

お問合せ (財)日野市環境緑化協会 日野市神明2-13-1 TEL 585-4740

小学生からの提案

市内の小学生四、五、六年生を対象に募集した作文

「緑のまち」に二、四〇五名の児童から応募がありました。学年別では、四年生四一八名、五年生一、〇二二名、六年生九六六名でした。この中から、入選作一三四作品が選ばれ、ここに優秀賞の中から三作品と審査いただきました審査委員長の講評を掲載します。なお、入選作一三四作品については、作文集として発行します。

日野の自然

日野第一小学校
六年二組 恒川 弥子

私の家の近くにはホテルがあります。毎年初夏の季節になると湧き

水の近くにホテルが集まっています。毎晩一〜二匹でてきてきれいです。その光を見ているとなやみなども忘れて「またがんばろう」という気になります。

だから、私の家の近くにホテルがすんでいることをうれしく思います。

しかし今、日本全体でもホテルが減ってきています。なぜなら生活排水や工業排水が川に流されるとホテルの幼虫のえさである貝がすめなくなってしまう。ホテルの幼虫は食べる物が無くなってすめなくなり、その結果、ホテルもいなくなってしまうからです。

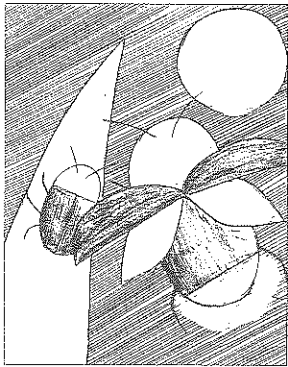
今は魚やホテルがすんでいる日野の自然も少し前までは汚染されていたそうです。川からは魚がいなくなり、湧き水も、有害物質が工場より地下に浸透して湧き水に溶け込みそれが用水に流れ込み農作物が台無しになったそうです。環境破壊を感じ

じた人々が立ち上がって一生懸命に日野の自然を元の姿にしていたそうです。そうして今では川に魚が戻り、ホテルも以前ほどではないそうですが、少しずつすみつき始めているそうです。

そのような歴史がありました。私の目から見た今の日野は自然豊かな所です。私の家や学校の周りには緑がたくさんあるため、空気がおいしく他の場所より涼しいです。虫採りなど日野だからできることも沢山あります。

でもその苦い経験がありながらも、一方では再び私たちの周りでは道路や宅地開発のため自然が減ってきていることは確かです。

道路がなければ産業は豊かになりません。田や畑は後継者がいなければ存続できません。でも私にはこういう問題はあまりにも難しすぎて解決する方法はわかりません。



でも、形はちがっても私にできる環境保護はあると思います。

それは、私の生活の中で出来る事から意識をもって始めたいです。ごみを捨てる前に一度リサイクル出来る物はないか考えて見る事や合成洗剤をあまり使わないで石鹸を使う事、油の付いたお皿は一回ティッシュでふいてから洗う事、石鹸や洗剤の無駄使いはしない事です。これらを実行すれば、少しはホテルや自然を守る事ができると思います。

いつまでも日野が緑豊かでホテルがすめる環境であってほしいです。

私の散歩道

平山小学校
五年二組 岩本 容

私の住んでいる住宅地の上に七生丘りょう公園があります。休みの日には、七生丘りょう公園から南平丘りょう公園に続く山道をお父さんと犬の散歩をします。となりにには多摩動物公園が見えます。

私は、この散歩道が大好きです。犬のリーフェもこの散歩道

が大好きで、歩いている時目が楽しそうに笑っています。リーフェが初めて外を歩けたのはこの公園の道でした。初めて外に散歩に出たときに、子犬だったリーフェは綱を引っぱってもアスファルトの上を歩こうとしませんでした。肉球がやわらかくて、かたいアスファルトがこわいのかなと思いました。夏の初めの時期だったので、アスファルトが熱かったのかもしれない。私はしょうがなくリーフェをかかえて歩き、山道に着いてから土の上にリーフェをそつと下ろしました。リーフェは初めは座りこんでいましたが、私が歩き出すと一緒に歩き始めました。そして、うれしそうに走り出したので、びっくりしました。犬も人間と同じで自然の道の方が気持ちいいんだなと思いました。

丘りょう公園の空気はとてもおいしいです。春は、ウグイスカズラやオオムラサキやヤマツツジなどが花ざかりで気持ちがよく、歩きながら花を探るのが楽しみです。ツクシは見つからなかつたのに、スギナになるとそこら中に生えているので、くやしい気持ちになります。時々お父さんとスギナでこの節を取ったのか当てるゲームをしま

す。秋になると落ちていた木の
実を拾うのがとても楽しみです。
それから私は、落ち葉の上を歩

くカサカサという音が大好きで
す。冬が近くなると、坂道は落
ち葉のすべり台になります。私
とリーフェは落ち葉の中をたく
さん走りまわります。葉っぱが
落ちると、景色が急によくなり、
とても遠くの富士山や都心のビ
ルまで見渡せます。

私は、家のすぐ近くにこんな
散歩道があるのがとてもうれし
くって自慢です。私が不思議
なのは、七生丘よう公園を散
歩していてもあまり人と会わな
いことです。みんながもつと日
野の自然の中を歩いて、自然が
もつと好きになれば、日野の自
然が守られると思います。

ハチが緑を作る

日野第一小学校

四年一組 西郷末希子

キラキラ。キラキラ。照らす
太陽。暑い日には、私たちは冷
房の中にいたり、冬の寒い日に
は、温かい部屋の中で、すごし
ています。でも、虫たちは暑い

日も、寒い日も、いつでも外で
働いています。

私の家のサンルームのてすり
に、ハチの巣ができています。
このハチの巣は、つりさがるよ
うにできていて、今は約五セン
チです。去年の夏休みにも、同
じ種類のハチが、同じ場所に巣
をつくりました。けれど、
「ハチだ!」
と言って、巣をとってしまいま
した。ですがその後、凶鑑で調
べてみたら、「セグロアシナガ
バチ」という、ハチでした。こ
のハチは花粉や花のミツをとり、
果実ができるように受粉します。
人間にとってよいことをします。
よいことをする虫を、人は益虫
とよんでいます。反対に、人間
にとって悪いことをする虫は、
害虫とよんでいます。

このハチは、益虫ということ
が、わかったので、今年はとら
ずにいようと思いました。

ある日、ハチの様子を見てみ
たら、ハチがさなぎを出して、
クルクル回っていました。
私は、

「あつ、成虫がさなぎを、なめ
ているのかなあ?」

と思いましたが、けれど、みるみ
るさなぎが小さくなっていきま
す。よく見ると、アシナガバチ
ではなく、スズメバチがさなぎ

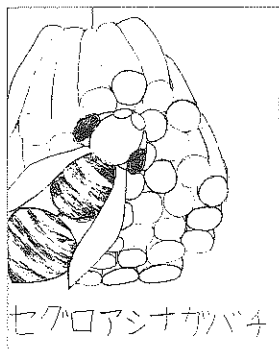
を食べていました。スズメバチ
は、一ぴき食べると、いつてし
まいました。

「かわいそうだな...。」
と思うけれど、考えてみると私
たちは、ハチの巣を全部取って
しまふような、スズメバチより
あぶないものと思われているか
もしれません。たしかに、私た
ちはハチを見ると、にげたり、
ころしてしまつたりします。

ハチが、受粉をすることで草
花がふえて、緑ができています。
受粉しなければ、種ができません。
地球にハチなどの虫がいな
いと、自然がなくなり、やがて
酸素や水がなくなつてしまいま
す。ハチなどの虫は、自然や、
人間、動物、みんなにとって、
大切なのです。

家のハチも、毎日毎日、休ま
ずに植物が種を作るのを、手伝
っています。

私は、これからもハチを、大
切にしたいです。



緑を守る心

審査委員長 中島和夫

用水路を流れる豊かな水、川
知らせてくれました。

に棲む様々な生き物、森や畑を
清掃活動への参加、ごみの減
量や分別の徹底、緑を守る呼び
かけ等、一人ひとりができるこ
とを行動に移すことの大切さを
ほとんどの子どもたちが訴えて
います。地球規模の環境問題が
クローズアップされる中でも、
その意識の高さに感心させられ
ました。

緑と清流を大切にしている日
野市、この環境をこれからも引
き継いでいけるように、緑を大
切にする心を育てて欲しいと思
います。

応募してくれた一点一点の作
品には、子どもたちの緑を守る
うとする心が込められていま
す。題材は違つてもその心は一
つです。これからもその心を大
切にし、日野市の財産である緑
を守って欲しいと思います。私
たちにとっての本当の意味での
豊かな町づくりをめざし、自然
との調和を図って欲しいと思
います。「緑のまち」に描
かれた自然がいつまでも残つて
くれることを願い講評と致しま
す。

子どもたちは、自然との触れ
合いを通し、その素晴らしさと
様々な恵みを与えてくれること
を教えてくださいました。

健康で心豊かな暮らしをする
ためには、この美しい緑と調和
した町づくりがどれほど大切に

「緑の募金」結果のお知らせ

今年も例年通り、4月・5月を強化月間として取り組んでまいりました。自治会・老人クラブ・事業所等、多くの皆様のご理解ご協力をいただき、昨年の実績額を若干下回ったものの、たくさんの募金が集まりました。

この募金は、東京緑化推進委員会に納入し、森林整備事業や地域緑化の促進、又一部は当協会に還元され、公共施設や公園等の花壇への花卉植付け等に役立たせていただきます。

募金総額 2,249,997円

〈内 訳〉

自治会	1,015,473円
老人クラブ	131,232円
市立小・中学校	26,661円
私立幼稚園・保育園	56,254円
団体・事業所	749,962円
一般・街頭募金	123,081円
市役所機関	147,334円

本当にありがとうございました



小構公園は、日野台1丁目地域に公園が無かったことから、地域の環境や防災に是非公園が必要、と言う市民の要望により4年前、工場跡地に出来た公園です。

その後、ワークショップでの公園の計画、設置に努力された地域の市民の方が中心となり、小構公園愛護会が結成されました。

活動を拝見しますと、この公園に対する愛護会の思いが伝わってきます。

たとえば、協会が花壇愛護会用に配る花を植えるだけでなく、皆んなで花の種を蒔いたり、苗を買ってきたりして、公園が花で一杯になるほど、丹精込めて手入れをされています。



小構公園愛好会の彦田ヒロコさん談

これからの高齢化社会に向け、この公園を花一杯にすることで、お年寄りや子供たちの交流の場、憩いの場となるよう願っています。

＜緑化協会事務所で腐葉土・乾燥肥料を販売＞

- 腐葉土 公園の落葉に米ぬかを加え、切り返しをしながら2年間蓄積し、叩き・ふるったものです。
- 乾燥肥料 油粕・魚粉・米ぬかを入れ、発酵させながら切り返し、夏は約2ヶ月冬は約3ヶ月かけて作ったものです。(緩効性肥料)

★どちらも菊、草花、野菜等の栽培に最適です。ぜひご利用下さい。

*腐葉土(約4ℓ)…100円 *乾燥肥料(400g)…100円 *固形肥料…20円
*お徳用腐葉土(約20ℓ)…400円 (約44ℓ)…800円もあります

編集後記

昨日、散歩道で秋の訪れを告げる赤い綺麗な花「ヒガンバナ」を見つけた。

子供の頃、この花を摘むと「手が腐る」と言われたのを思い出しました。どうしてそう言われたのかと思いついて少し調べてみました。

本名は「曼珠沙花」で法華経の梵語で「天上界の赤い花」という意味だそうです。

和名は秋の彼岸の頃咲くので「ヒガンバナ」その他にも多くの地方名があるそうです。

古い時代に中国から渡来し野生化した日本全土に分布し、堤防や田の縁、墓らなどにかわりの深い花のようです。この花にはリコリン、アルカロイドなどの毒素があり、花茎の汁はかぶれをおこし、誤って食べると吐き気、下痢をおこすようです。

そんな危険な植物が人里近くに植えられたのは訳があるようで、昔飢饉の際水に晒し毒抜きし食用にしたり、毒性を生かし野ネズミやモグラから蛙や土手の崩壊を守ったりしたそうです。このような事からきつと子供が誤って口にしないように「手が腐る」と言われたのかと思います。



彼岸花

(財)日野市緑化協会のホームページアドレス <http://www.hinocativ.ne.jp/~ryokka>